

## パイロットに必須の難関試験、中学生が合格 夢のパイロットへ前進



シュミレーターを使い操縦法を勉強する鴛海さん（左）と松井さん＝兵庫県川西市緑台4

兵庫県川西市の中学3年生鴛海（おしのみ）研吾さん（15）＝同市丸山台2＝が、旅客機などを操縦するプロパイロット必須の国家試験「航空無線通信士」に合格した。同試験の最年少合格（14歳）は逃したものの、中学生での取得は快挙。早くも夢の実現に近づいた。

鴛海さんは、小学生のとき、海上自衛隊岩国航空基地でヘリコプターに体験搭乗し、パイロットになろうと決意した。中学1年のとき、パイロットの資格を持ち、国内の教育機関で教官を務めた経験もある松井茂樹さん（62）＝同市緑台4＝が主宰する「航空&ロボット英会話ラボPROP」に通い始めた。

鴛海さんは熱心に知識を吸収し、今年6月に行われたアマチュアパイロットに必須の「航空特殊無線技士」の国家試験に最年少で合格。続いて8月にあった専門的な英会話能力も試される航空無線通信士試験に合格した。

松井さんは「ここで教えた若者で航空無線通信士に合格したのは初めて。私の思いが伝わりうれしい」。鴛海さんは「パイロットになるにはまだ10種類ほどの資格が必要。旅客機を操縦する夢をかなえるため着々と準備を進めたい」と話している。（三津山朋彦）